
一般教育等

General Education

一般教育等 開講ゼミナール一覧

赤塚 広隆 114

杉山 成 115

醍醐 龍馬 117

1. 研究主題

整数論または代数学の初歩を学習します。数学と関連しており、一定レベル以上の内容があるものであれば、その他のテーマも可とします。

2. 指導要領

研究主題に沿ったテキストを輪読し、知識の習得を目指します。割り当てられた部分をセミナー形式で発表してもらいます。質疑応答のための時間を十分に取、議論の仕方を身につけることを目指します。理解したことや考えたことを自分の言葉でまとめてもらい、論理的な文章の書き方を身につけることを目指します。

3. 指導テキスト及び参考書

相談して決めたいと思いますが、テキストの候補の例として以下の二冊を挙げます。

1. G. E. Andrews, Number Theory, Dover Publications, 1994.
2. G. H. Hardy and E. M. Wright, An introduction to the theory of numbers, Clarendon Press/Oxford University Press, 初版 1938, 第6版 2008. 邦訳あり: 示野, 矢神訳, 数論入門 I, II, 丸善出版.

4. 選考の方法 (面接・テスト等)

数学の基本的な論理を理解しているかを面接により試験します。試験範囲は

田島一郎、イプシロン-デルタ、数学ワンポイント双書 20、共立出版、1978 年

の第 1 章(最初から 48 ページまで)とします。数列や関数の極限の定義を正確に理解しているか、定義に基づいて数列や関数の極限の基本的な性質を導出できるかを質問する予定です。本の内容を正確に理解し、何も見ずに説明できることを合格水準とします。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11月5日(火)から11月8日(金)の間のいずれかの日に、292ゼミ室で面接試験を実施する予定です。試験に必要な本は各自で購入する、もしくは図書館で借りるようにしてください。何らかの理由で本の入手が難しい場合は担当者(akatsuka@res.otaru-uc.ac.jp)にご相談ください。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

詳しい事情は後述の説明会のときにお話ししますが、来年度および再来年度に関して、担当者は長期にわたり大学を不在にする可能性があります。不在期間中は、担当者が指定する別の教員の下で研究指導を実施します。担当者が長期にわたり研究指導の担当から外れることを理由に卒業論文の合格水準を下げることはありませんのでご注意ください。このような事情がありますので、今回の募集については以下の(1)~(3)のすべてに該当する方を除き、本ゼミをお勧めしません。

- (1) 大学卒業後の進路として、他大学の大学院数学専攻の修士課程など、数学に直接関わるものを第一希望として考えている。
- (2) ε - δ を用いた極限の厳密な定義などはすでに理解しており、ある程度自立して数学を学習できる。
- (3) 英語で書かれた数学書を読むことに過度の抵抗はない。

10月9日(水)から10月11日(金)の間のいずれかの日に説明会を開きます。詳細は9月中に掲示でお知らせしますので、本ゼミを志望する(もしくは志望する可能性のある)学生は、必ず説明会に参加してください。事情があり説明会に参加できない場合、**事前に** akatsuka@res.otaru-uc.ac.jp に連絡してください。説明会終了後の連絡は、原則として連絡がなかったものとして扱います。**説明会に不参加で事前連絡もない場合、当ゼミを志望しても選抜試験を実施せず自動的に不許可とします。**

1. 研究主題

本ゼミは「ピアサポート（学生が学生に対して行う、種々な支援活動）」の計画と実行、そして、アルフレッド・アドラーの個人心理学（individual psychology）についての輪読・討論を行います。これらを通して、自分、仕事、そして、社会の間の幸福な関係について、一緒に考えてみたいと思います。

2. 指導要領

個人心理学についての学習、そして、それに基づいた実践をゼミの両輪として進めていきます。

- ① A.アドラーの個人心理学についてのテキストを輪読し、それに基づいたパーソナルワークおよびグループワークを行い、自分自身や人間観、社会観についての考察を行います。
- ② ピアサポート（大学での居場所づくりや障がいのある学生への支援）や心理学ワークショップを開催します。そして、そのために必要な対人援助（ピアカウンセリング）やプレゼンテーションのスキルを身につけます。
- ③ 北海道ピア・サポートコンソーシアムの活動に参加し、他大学の学生との交流・協働を行います。

3. 指導テキスト及び参考書（予定）

- ・ 伊藤智樹 『ピア・サポートの社会学（晃洋書房）』
- ・ 岸見一郎・古賀史健 『嫌われる勇気』『幸せになる勇気』（ダイヤモンド社）
- ・ アルフレッド・アドラー 『人生の意味の心理学（上・下）』（アルテ）他

その他、学生の関心に応じてテキストを選択します。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望動機や現在の関心事等について、10分程度の簡単な面接を行います。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は11月5日（火）13時から403ゼミ室で行います。どうしても時間の都合がつかない場合には別の日程を設定しますので、事前にメールで申し出てください（宛先：sugiyama@res.otaru-uc.ac.jp）。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

次のような諸問題に関心があれば、2年間のゼミ活動のなかで、自分なりの答えを見つけることができるのではないかと考えます。

- ・ 人間らしく生きるとはどういうことか
- ・ 自分を受け入れるにはどうしたらよいか
- ・ 仕事を通して成長していくにはどうしたらよいか
- ・ 社会のなかでの居場所はどのように作っていけばよいか
- ・ 他者との信頼関係はどのようにしたら得られるか

なお、本ゼミにおいては授業割上の時間（木曜4・5講）以外に活動することが多くなりますので、その点についてあらかじめご了承ください。2年生についても、所属決定後、段階的にピアサポートに参加していただくことを予定しています。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミ・合同説明会はありませんが、月曜～金曜の昼休みには杉山ゼミの3年生がピアサポーターとして常駐していますので、そちらでゼミについての詳しい相談をすることが可能です。関心のある方は、一度、ピアサポートルームをお訪ねください。

ゼミ紹介白書

< 杉山 >

ゼミ>

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生)	5人
男女比(3年生)	7:8
ゼミ室	403号室、ピアサポートルーム
ゼミの鬼仏表	仏・ 普通 ・鬼

Q. 先生はどんな人?



- ・ 優しい
- ・ おちゃめ
- ・ お話が大好き
- ・ お酒が大好き
- ・ ゼミ生の希望を叶えてくれる!

< 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	・ アドラー心理学
5	・ カウンセリング演習
6	・ ピアサポート活動
7	・ コンソーシアム活動
8	↓
9	ゼミ合宿
10	・ ピアサポート活動
11	・ ゼミ生の希望した内容
12	について学習します!
1	・ コンソーシアム活動
2	↓
3	

<ゼミの日常>

「嫌われる勇気」の輪読と
 カウンセリング演習を
 ゼミ時間に隔週で行ってます。
 また、毎月～金曜日昼休みに担当を
 決めてピアサポートルームで
 活動をしています。

<卒業生の進路>

民間・公務員問わず
 幅広い業種・職種に
 進んでいます!

<自由記入欄>

杉。心。楽。充。迎。

1. 研究主題

日本政治外交史、日露関係史

2. 指導要領

政治家や外交官の書簡等を読みながら、歴史研究に必要な史料読解力を養う。幕末・明治維新期の外交を共通テーマとするが、個別の研究テーマに関しては近現代の範疇であれば各々の関心に応じる。

3. 指導テキスト及び参考書

石井孝『明治初期の日本と東アジア』有隣堂 1982 ほか

秋月俊幸『日露関係とサハリン島－幕末明治初年の領土問題－』筑摩書房 1994

※受講者数やその関心に応じ適宜変更する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を実施する。

5. 面接・テスト等の日時・場所

研究室 442 で行う。日時等は別途指定する。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

担当者の「基礎ゼミナール」又は「歴史と社会」を受講していることが望ましい。
フィールドワークを実施することがあるので、積極的に参加できること。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

今年度非開講のため、実施しない。